|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 領域 | 目標 | レベル1 | レベル2 |
| 活動スキル | A1 撮影と編集 | 写真や動画を撮ることができる | 映像の加工・編集ができる |
| A2 ＰＣの操作 | ローマ字で文字入力ができる | ファイルの管理ができる |
| A3 ウェブ検索 | キーワードで検索できる | サイトの構造を理解して情報を見つけられる |
| A4 図書利用 | 図書館内にある本を見つけることができる | 目次や索引を活用して情報を見つけられる |
| A5 インタビュー | 質問を用意することができる | その場で追加の質問ができる |
| A6 アンケート | 何を聞くか質問を考えられる | 目的にあった質問の形式や内容を考えられる |
| A7 メモ | 箇条書き・単語でポイントをまとめる | 書く場所や矢印・強調などで工夫する |
| A8 口頭発表 | 大きな声で分かりやすく話す | 身振りや声の抑揚など伝え方を工夫できる |
| 探究スキル | B1 取捨選択 | 課題解決に役立つ情報を選ぶことができる | 選んだ根拠を説明することができる |
| B2 読み取り | ひとつの資料から視点をもって情報を読み取る | 複数情報から共通・相違・矛盾点を見つけられる |
| B3 創造 | 情報から分かったことをまとめられる | 情報を組み合わせて新たな意味を見出す |
| B4 伝達内容の構成 | 話の順番を組み立てることができる | 相手を説得するために論理を組み立てられる |
| B5 表現の工夫 | メディアに応じた工夫ができる | 伝えたいことに応じて表現を工夫できる |
| B6 受け手の意識 | 相手を意識して伝え方を工夫する | 相手の反応をみて伝え方や内容を工夫する |
| B7 学習計画 | 決められた計画に見通しを持つことができる | 自分で計画を立てることができる |
| B8 評価と改善 | 学びをふりかえることができる | ふりかえりをもとに改善策を立てられる |
| プログラミング | C1 分解する | 部品に分けて物事をとらえることができる | 部品を組み合わせて物事を表現できる |
| C2 関係づける | 部品と部品の間にある関係に気づく | 部品と部品の関係をプログラムで表現できる |
| C3 問題解決の手順 | 問題解決の流れを手順に表すことができる | 問題解決の手続きを組み立てることができる |
| C4 データの分類 | データを決められた観点に分類できる | データから観点を考えて分類できる |
| C5 データの傾向 | 大まかなデータの傾向を見出すことができる | データの変化をとらえて説明できる |
| C6 試行錯誤 | うまくいかない時に繰り返し取り組もうとする | 繰り返しながら問題解決の方向性を見出す |
| C7 情報技術の将来 | 新しい情報技術がどんなものか知る | 新しい情報技術にどう関わるか説明できる |
| 情報モラル | D1 コミュニケーション | 相手によって受け止め方が違うことを理解する | 発信する情報に責任を持つ |
| D2 法と権利 | 人のつくった作品や情報を大切にする | 著作権や肖像権に留意して情報を扱う |
| D3 健康と安全 | 情報機器を使ってよい場所や時間を守る | 情報機器を使う場所や時間を自分で管理できる |
| D4 ルール・マナー | ルールやマナーが必要であることを理解する | ルールやマナーを相手といっしょにつくる |
| D5 セキュリティ | パスワードを安全に管理する | なりすましやウィルスなどの危険を理解する |
| D6 個人情報 | 自他の情報をむやみに他人にもらさない | 自他の情報を相手や範囲を考えて管理する |
| D7 情報社会の将来 | 情報社会の特色を理解する | 情報社会の中でどう生きていくか説明できる |